



昨年10月から11月にかけて木戸城跡の発掘調査が行われ、11月25日に現地説明会が開催されました。戦国時代の土壁や陶器だけでなく、飛鳥時代・奈良時代に属する竪穴住居や土器なども発見され、今後の研究を進める上で重要な資料になります。見学に訪れた人は、「地元からこんなものが発掘されるなんて」と驚いていました。



木戸城跡から 竪穴住居が出土



ラジコンカーで 交通安全学習

横山地区コミュニティ推進協議会の主催により、桜町小学校で交通安全学習会が開催され、48組の親子が参加しました。できるだけ興味を持って取り組んでもらおうと、今年はラジコンカー6台を導入。信号機や踏み切りなどを配置したコースを1周して、楽しく交通ルールを学びました。親子で仲良く操作する姿も見られ、親子のふれあいを深めることもできました。



世のバリアフリーを 進めよう

デンパークで障害者ふれあい体験が行われ、ボランティアを含む191人が参加しました。バリアフリーをすすめる会「ででむし」が中心となり、人にやさしい街づくり事業の一つとして開催されたこの催し。障害者と健常者合わせて10人ほどのグループでウォークラリーを行い、楽しい時間を過ごしました。



聞いてよ わたしたちの思い

文化センターで安城ふれあいスピーチ広場が開催されました。昭和40年に「話し方大会」として始まりましたが、今回から名称を変更し、内容も大きく様変わり。伝え合う力をより高めるために、パネルディスカッションやディベートなどの討論形式を取り入れました。参加した約40人の児童生徒は、「友達」や「自動販売機は本当に必要か」などをテーマに堂々と意見を述べていました。



デンパーク 入園300万人を達成



デンパークが開園から1315日目で入園300万人を達成しました。300万人目の入園者になった滋賀県長浜市の弓削恵実さん（写真中央）には、記念品としてペアカップセットとデンパークパスポートが贈られました。弓削さんは、「びっくりしました。家族旅行で来たんですが、いい思い出になりました」と話していました。



スポーツを通して 青年活動の活性化を

市体育館で第17回安城市青年バレーボール大会が開催され、8チーム約120人がさわやかな汗を流しました。市青年団協議会が地域の青年団などの青年団体に呼びかけて毎年行っています。同協議会会長の畔柳伸次さんは、「スポーツを通して青年活動を盛り上げたい」と話していました。



平成の伊能忠敬 江戸をめざして

実測による日本地図を初めて作成した伊能忠敬の足跡をたどり、2年がかりで日本を1周するイベント「伊能ウォーク」。2001年元日の東京ゴールまであと約1カ月となった先月6日、本部隊が本市を通り、市役所本庁舎前で署名式を行いました。すべての行程を踏破する本部隊員の1人である今池町の西川阿羅漢さんは、「継続は力なりです。こつこつ歩けば日本1周もできることを実感しました」と話していました。



▲市長から記念品を受けとる西川さん



発明クラブへ すてきなプレゼント

中部公民館で毎月第2・4土曜日に活動している「安城市少年少女発明クラブ」へ作業用のユニホーム200着が贈呈されました。(社)刈谷法人会安城支部が社会貢献活動の一つとして行ったものです。次代を担う子どもたちへのすてきなプレゼントとなりました。

